

教科・科目	【 数学 ・ 数学A 】	単位数 : 2単位 履修年次 : 1年次
目標	図形の性質, 場合の数と確率について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 数学と人間の活動の関係について認識を深め, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。	
教材	高等学校 数学A(数研出版) チャート式 解法と演習 数学A(数研出版), 4プロセス 数学A(数研出版)	
学習方法	単元ごとで「何を、どのように学ぶのか」「何ができるようになるのか」を意識しながら授業に臨むこと。その上で授業は集中して真剣に聞き、疑問点はすぐに解決すること。授業で習ったことをその日のうちに復習し、問題集の問題で実践してみる。授業のノートとは別に問題演習用(課題提出用)のノートを用意すること。また、単元終了ごとに自己の学びを振り返って目標達成状況を確認し、学びの質を高めること。	

● [評価規準・評価方法・めざす資質と能力]

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	図形の性質, 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と人間の活動の関係について認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し, 図形の性質を見だし, 論理的に考察する力, 不確実な事象に着目し, 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力, 数学と人間の活動との関わりに着目し, 事象に数学の構造を見だし, 数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	
評価方法	定期考査, 実力テスト, 単元テスト, 小テスト	定期考査, 実力テスト, 課題レポート	授業に臨む姿勢, 自己評価シート, その他の自主的な取り組み	
麻高GP				

● [学習計画]

学期	月	学習内容	評価方法
前期	4月～ 5月	第1章 場合の数と確率【第1節 場合の数】	第1回定期考査 小テスト 課題レポート 単元テスト
	6月～ 8月	第1章 場合の数と確率【第2節 確率】	第1回実力テスト 第2回定期考査
	9月	第2章 図形の性質【第1節 平面図形】	
後期	10月～ 11月	第2章 図形の性質【第1節 平面図形 第2節 空間図形】	第3回定期考査 小テスト 課題レポート 単元テスト
	12月～ 2月	第3章 数学と人間の活動	第2回実力テスト 第4回定期考査
	3月	第3章 数学と人間の活動	

● [評価基準]

	(考査以外) の評価割合	定期考査 の評価割合			学期末・年度末の 観点別学習状況の評価	学期末・年度末 の評定
知識・技能	10	70			A ~ C	5 ~ 1
思考力・判断 力・表現力	10				A ~ C	
主体的に学習に 取り組む態度	10				A ~ C	

評価の内容	評価
「十分満足できる」状況と判断されたもの	A
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	B
「努力を要する」状況と判断されたもの	C

評定の内容	評定
「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されたもの	5
「十分満足できる」状況と判断されたもの	4
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	3
「努力を要する」状況と判断されたもの	2
「努力を要すると判断されたもののうち、特に程度が低い」状況と判断されたもの	1